

# 魚病診断結果における疾病の種類の変化

福島県内水面水産試験場 生産技術部

## 1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－魚病

## 2 担当者名

坂本 啓

## 3 要旨

内水面水産試験場では養殖業者等からの依頼により魚病診断を行っている。2008年度から2025年度（12月末時点）までの魚病診断結果から、近年、寄生虫症の増加傾向がみられた。サケ科は寄生虫症に対する水産用医薬品はないため、低密度飼育やこまめな水槽掃除、塩水浴等により良好な飼育環境を保つことが重要であり、防疫指導として業界へ注意喚起を行う。

- (1) 当場に持ち込まれた養殖魚の診断結果をサケ科、コイ科に分類し、複数の疾病を確認した場合は複数件とし、疾病原因別に4つに分類した。
- (2) 2008～2010年度、2023～2025年度のコイ科、サケ科の疾病の種類を比較した結果、両者ともに寄生虫症の割合が増加した（図1、2）。サケ科では診断件数も増加しており、特に多かった寄生虫症は白点虫が9件、次いでキロドネラが7件であった。

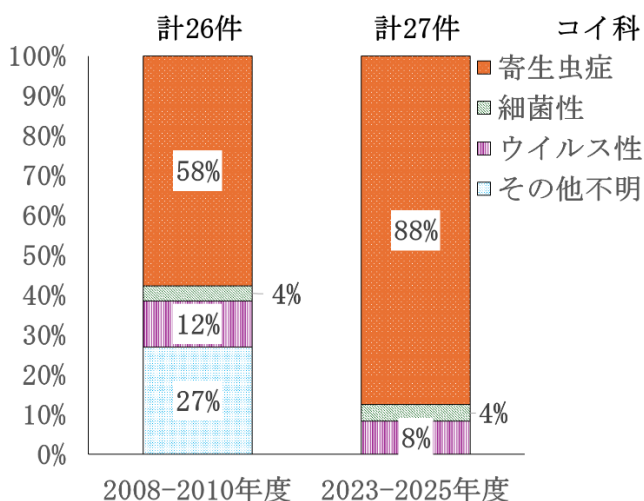


図1 2008～2010、2023～2025年度のコイ科魚類の魚病診断件数の割合

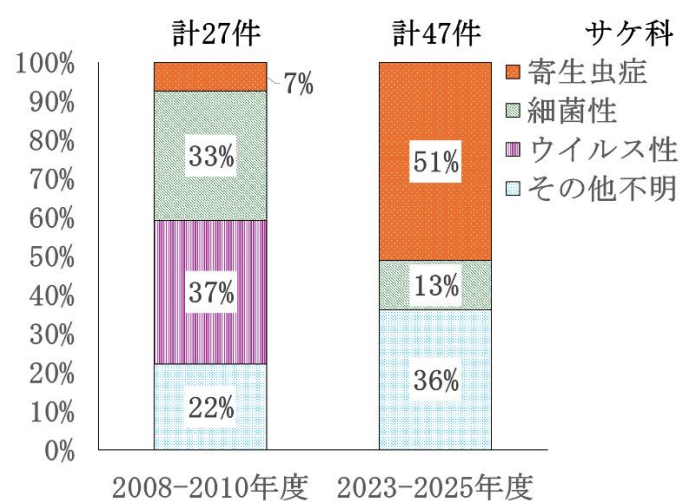


図2 2008～2010、2023～2025年度のサケ科魚類の魚病診断件数の割合

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 魚類の防疫に関する研究

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度～令和6年度内水面水産試験場事業概要報告書